

# 毎日アースデイ新聞

Mainichi Earthday Paper

港区立エコプラザ版  
<http://eco-plaza.net>



2009年(平成21年)3月15日(日) Vol.273

発行：毎日アースデイ株式会社  
〒105-0013 港区浜松町1-13-1

FREE

## つくって、なげて、笑顔溢れるワークショップ



「やった、とれた！」。はじめてブーメランをキャッチした瞬間、思わずそう叫んだ子どもの顔には満面の笑み。その周りには、講師のアドバイスを受けながら夢中になってブーメランを投げる参加者たちの姿があります。これは14日にエコプラザで開催されたワークショップ「紙ブーメランで遊ぼう！」での一幕。

この日からはじまった「森のブーメラン展」のオープニングイベントとして行なわれたこのワークショップ。日本ブーメラン協会なみきひろしの成伯宏史さんの指導のもと、参加者たちが紙ブーメランの作成キットに思い思いに色をぬることからワークショップははじまりました。ペイントしたブーメランを型に沿って丁寧に切り抜くと、いよいよ実際に投げることに挑戦。「ブーメランの端を軽く握って、手首のスナップをつかっ、こう」。成伯さんのアドバイスを受けながら、次々に自作のブーメランを投げる参加者たち。そこには、大人も子どもも関係なく、「おお、戻ってきた！」「やった、とれたよ！」と歓声をあげながらブーメランを楽しむ参加者たちの姿がありました。

色とりどりのブーメランが飛び交ったこのワークショップ。参加者たちは、全身運動であるという意外な一面に驚きながら、間伐材と森の音「音林浴」に囲まれたエコプラザで、ブーメランを投げる楽しさを満喫していました。

# 英語で学ぶ“organic”



14日午後、環境英会話講座・初級編の講義がエコプラザで行なわれました。いつものようにテキストに添って英語を学んだ後、受講生たちは前回と同様に環境問題に関連したクイズに挑戦しました。

英語で書かれた説明文を読み、その文章が意味する単語を当てるというこのクイズ。この日出題された問題の一つに、次のようなものがありました。“(of food, farming methods, etc.) produced or practiced without using artificial chemicals(=人工的につくられた化学物質を使わずに生産・実践された食品や農法など)”。問題の答えがわからず、頭を抱える受講生たち。講師の北谷勝秀先生が“o(=オー)”から始まる単語だよ」と助け船を出すと、一人が“organic!(=オーガニック!)”と声を上げ、みんなが「そうか!」と頷きました。先生はにっこり笑いながら“good!”と言って、さらに日本語でこう続けました。「オーガニックの食べ物を摂ることを私は絶対に薦めます。妊娠しなかつたり、赤ちゃんがアレルギーを持っているたりすることは、化学物質と関係があります。また、オーガニックは地球にも優しいのですよ」。こうして、受講生たちは、オーガニックの意味と英語の表現とを同時に記憶に焼き付けました。

環境英会話講座も残すところあと1回。受講生たちの英会話力と環境の知識は確実に高まってきています。



## きょうのエコチェック

—2009年3月15日(日)

◎エコチェックできたら、この用紙をエコプラザの受付にお持ちください。エコポイントがもらえます。

1	きょう、何かCO <sub>2</sub> 排出量の削減をこころがけた?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
2	きょう、何かオーガニックの食べ物を口にした?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
3	きょう、何か国産の間伐材製品を手にした?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
4	きょう、夜はパソコンを使わないようにした?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
5	いつも、電球型蛍光ランプをつけている?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
	「はい」の合計		コ